

やすらぎある

市民生活を優先

高福祉と文教のまち目指す

新津市の将来計画を明らかにする第五回目の総合開発審議会が先月の二十七日に開かれ、市民生活優先とした新津市のビジョン、基本構想を取りまとめ、いちおう「試案」のかたちで検討しました。

総合開発審議会 基本構想の試案を検討

市独自の豊かな方向さぐる

この総合開発審議会は、五月十五日号でもすでにご紹介してあるとおり、委員の自由討議の中から一つひとつ将来像を求めていく、いわゆる市民参加の新津方式で進められているもので、このたびのいちおうの「試案」も、今後十路の舗装計画や、現在、重点

明日の新津市をもとめる市民参加の総合開発審議会



それぞれのしごとと分野からいろいろと調査、検討を行なう庁内連絡会議



像に目標 市の来目 市将五

この基本構想の試案は、今後十か年における市政運営を人間尊重、市民生活優先の立場に立って、健康で安全な明るい快適な都市づくりを目ざす

- ① 緑と自然に囲まれた都市
- ② 健康で安全な都市
- ③ 文化的におおむね高い都市
- ④ 産業と民生の調和のとれた都市
- ⑤ 豊かな人間性と創造で築く都市

都市環境などを整備

し、次の五つの目標をかかげています。
またその内容も、地理的自

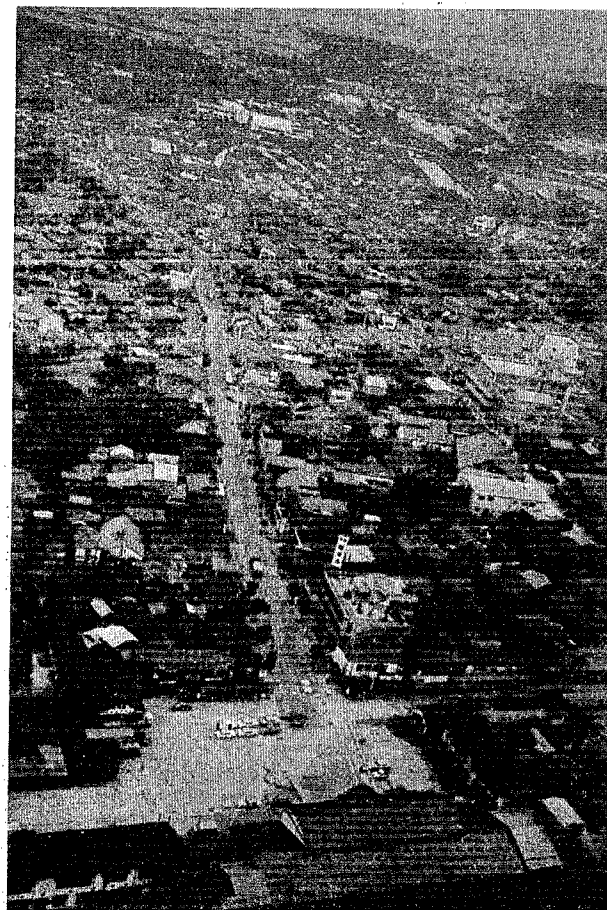
しょう点を合わせて、これらの目標を成しとげるため、向う五か年間の基本計画の具体的な手段を考慮しています。

緑地化を進めるいっぽう、やすらぎある市民生活を第一として、市街地、住居地域内の中小生産工場の集団化をはかるため、能代川分流の完成を予定して、その東側のうち羽越線下流域の開拓、さらに現在の第五中、工業高校、鉄道学園を中核とする文教的地域づくりが議論されています。

また、西側地域は商業地域に、来秋完成する市民会館周辺は官公庁街とするほか、駅裏地域は住宅、商業地域も検討されています。

このほか、うるおいのある市民生活を築くための上、下水道の整備や、住宅対策などの生活環境づくり、老人、子どもの社会保障、福祉面における充実化、無公害工業を誘致して市民所得の向上と、今後農業経営上に生じるであろうあまの労働力の吸収をはかるための積極対策、それに上級学校などを誘致したり教育施設なども充実して、文教都市としての新津市を位置づけられています。

なお市では、この総合開発計画の基本構想試案を、今後とも審議会です十分な審議、検討を加えていただき、新津市独自の豊かな都市の方向づけをするため成案をつくりあげ十一月定例市議会に提案する準備を進めています。



人間尊重、市民生活優先の立場に立って、緑と太陽のある住みよい豊かな都市づくりを目ざしています。写真は空から見た市街地

表 具
鈴木 一心
一級技能士 訓練指導員 鈴木正義 本町3番2-2035

ほほほんのり染めて
女らしさのメイクアップ
資生堂シフォネット・ナチュラルグロウ
第四銀行が向い。北越銀行がとなり
マツヤ 本町2 TEL (2)-0418



ご存じですか？ 県庁所在地の電話番号しらべ
あなたのダイヤルで直接相手局の104番へおたずねください
新潟市内の番号しらべ…… (0252) 104
東京都内の番号しらべ…… (03) 104 無料

心をつなぐ 新津電報電話局